

令和6年度第2回大垣市障がい者の暮らしを支える協議会全体会

「日中サービス支援型共同生活援助事業所の報告・評価について」の質疑・意見への回答

事業所名：ソーシャルインクルーホーム大垣静里町

質疑・意見	質疑・意見への回答
<p>施設の前の道路が狭いことが心配。 緊急時に身動きができないくらい狭いところなので、緊急車両が広い道路まで出られる方法を検討していただきたい。</p>	<p>非常事態時に備えて、駐車スペースに停めてある車を職員が一斉に移動させて緊急車両が入ることができるような避難訓練を実施している。</p>
<p>回答の中で、「努めてまいります」といった表現をされているところがいくつかあるが、これは継続していくということなのか、それともこれからやっていくという意味なのかどちらか。</p>	<p>後者を意味している。 例えば、地域交流の一環として9月に簡単な夏祭りを予定しているが、いろいろ試行錯誤していきながら進めていく。</p>
<p>施設定員は20名となっており、事業所が始まったばかりということもあり満床となっていないが、今後定員を埋めていくために努力していることはあるか。</p>	<p>まず定員の状況について、1階の男性フロア10床は、現時点で4名が入居しており、8月に2名入居予定である。 また、8月に見学が5名予定している状況で、早ければ10月頃には満床になる可能性がある。 2階が女性フロア10床となっているが、今後開設予定である。 それに伴い、職員の確保、各相談支援事業所での連絡、職員間での情報共有などで動いている。</p>
<p>強度行動障がいのある方で、行き場がない方がたくさんいらっしゃる。 今後、女性フロアを開設されるとのことだが、その際、強度行動障がいのある方の入居の相談や受け入れの検討はしていただけるのか。</p>	<p>受け入れは可能。 各病院やソーシャルワーカーから入居に関する問い合わせもある。 まずは1回体験に来てもらって、本人が問題ないようであればそのまま入居していただくという流れで対応している。</p>